

食品・農産物の表示の信頼性確保と機能性解析のための 基盤技術の開発（継続）

【329（340）百万円】

対策のポイント

科学的根拠に基づいた、信頼性の高い食品の品種・産地判別技術と機能性解析技術を開発します。

（ニュートリゲノミクスとは）

ニュートリション（栄養）とゲノミクス（遺伝子の網羅的解析技術）の造語で、食品成分の摂取に伴って起こる遺伝子の発現量の変動を網羅的に解析する手法です。食品成分を摂取した時に起こる生体内の変動を遺伝子レベルで調べることが可能です。

政策目標

国産農林水産物の信頼の確保と食事バランスによる健康増進

<内容>

1. 食品表示の信頼性を確保するための評価・管理技術の開発

食品の信頼性を確保するため、原産地、生産履歴情報、品種・系統等の高度偽装防止技術を開発し、さらに国際標準化を踏まえつつ、妥当性が確認された分析方法を確立します。

2. 食品・農産物の新たな機能性解析技術の開発

ニュートリゲノミクス（栄養成分応答性遺伝子解析技術）等を活用した丸ごと食品・農産物の総合的な機能性・安全性解析技術を開発します。

<実施主体等>

実施主体 民間団体等

実施期間 平成18年度～平成22年度

[担当課：農林水産技術会議事務局研究開発官（食の安全、基礎・基盤）（03-3502-7430（直））]